体表温度測定機能付 マルチターミナル UFT-2060TM

クイックガイド

TB EYE

V1.01

©2020 TB-eye Ltd.

目次

1.	安全上のご注意 <u>1</u>
2.	同梱品リスト <u>2</u>
3.	製品概要 <u>2</u>
	3.1 外観と寸法
	3.2 構造と接続ケーブル
4.	デバイスの取り付け及び配線5
	4.1 デバイスの配線
	4.2 部品、工具の準備
	4.3 体表温度測定モジュール(OEP-BTM32-NB)の取り付け及び配線
	4.4 ゲートへの取り付け及び配線
5.	デバイスの起動及び各種設定 <u>17</u>
	5.1 本機からのログイン
	5.2 本機からの設定
	5.3 Web ログイン
	5.4 Web からの設定
6.	使用上の注意事項 <u>27</u>
7.	特記事項 <u>28</u>
8.	免責条項、ネットワークセキュリティ強化

1. 安全上のご注意

本機は、必要な安全上の知識や技能を有し、トレーニングを受けた専門の技術者 が設置、調整、保守を行ってください。本機の使用を開始するにあたり、お使い になる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいた だくために、取扱説明書およびクイックガイドをよくお読みになり、記載事項を お守りください。

警告/注意

<u>承</u> 警告	重度のケガ、死亡 内容です。	亡する危険性がある	▲ 注意	装置を損傷したり軽度のケガを負っ たりする危険性がある内容です。
-------------	-------------------	-----------	------	-------------------------------------

警告

- 必ず弊社付属の電源アダプターを使用してください。
- 指定の定格(DC12V 2A)を満たす電源ケーブルを使用してください。
- 一つのアダプターに複数の本機を接続しないでください。
- 電源及び信号線を接続時、接続ケーブル、配線の説明を確認してください。I/0 ケ ーブル、ウィーガンドケーブル、DC 電源入力ケーブルは極性を確認して正しく接 続してください。また、未使用の本体配線は、リード部を切って、他の配線とシ ョートしないように処理してください。
- 本機を、デスクトップスタンド、フロアスタンドに取り付け設置する場合は、平面上にしっかりと固定してください。不安定な状態は、転倒の原因になります。
- 本機に液体がかからないようにしてください。また、お手入れの際、本機に直接 水をかけないでください。
- 異臭や発煙が発生したら、製品の使用を中止してください。このような場合にはただちに電源を切り、販売代理店にお問い合わせください。
- 本機が正常に動作しない場合は、お近くの販売代理店にお問い合わせください。
 本機は絶対に分解又は改造しないでください。(当社は無許可の改造や修理ミスに起因する問題に対して責任を負いません。)

注意

- 本機に物を落としたり、強い衝撃を与えないでください。過度の振動や磁気妨害のある場所に近づけないでください。
- 高温、低温、高湿度、埃、すすのある場所に設置しないでください。
- ●本機を移動する場合には、電源を切って移動あるいは設置してください。
- ▶ 落雷対策をしていない環境では落雷により故障する場合があります。(当社は落 雷に起因する問題に対しては責任を負いません。)
- 通気性の良い場所に設置してください。

2. 同梱品リスト

番号	名称	数量
1	体表温度測定機能付マルチターミナル (UFT-2060TM)	1
	デスクトップスタンド付	-
2	M6 六角穴付きネジ	2
3	L 型六角レンチ(H3+H5)	各1
4	丸型 RJ45 防水コネクター	1
5	フラッパーゲートドリルステッカー	1
6	シールワッシャ	1
7	サンシェード*	1
8	M3 ネジ*	1
	(サンシェード取り付け用)	-
9	4 ピンケーブル端子ブロック*	1
	(電源接続用)	

*番号 7~9の同梱品は、体表温度測定機能付マルチターミナル UFT-2060TM では未使用。

3. 製品概要

本機は、高い認識率、大容量ストレージ、高速認識を備えたアクセス制御デバ イスの一種であり、開扉するための顔認識、温度正常/異常測定機能、マスク検 知をサポートしています。また、アラーム出力も可能です。本機にはディープ ラーニングアルゴリズムが実装されており、人物を正しく認識し、従来のアク セス制御デバイスに見られたカード改ざん問題を防止します。小売店、オフィ スビル、工場・産業施設、商業施設、スポーツジム、医療、介護施設などさま ざまな市場に広くご利用いただけます。 3.1 **外観と寸法**

下図は本機の外観を示しています。デスクトップスタンドが標準装備されています。(実際のデバイス外観は本書と異なる場合があります。)



3.2 構造と接続ケーブル

下図は本機の外観とテールケーブルを示しています。



1. 白色補助ランプ (2)	2. カメラ 1
3.赤外線補助ランプ(2)	4. カメラ 2
5. 表示画面	6.パススルーインジケーター
7. マイク	8. スピーカー
9. WIEGAND_OUT	10. WIEGAND_IN
11. RS232	12. RS485
13. ネットワークインターフェース	14. ALARM_IN

15. IO-1	16. IO-2
17.USB	18. 電源入力 (DC5V)
19. 電源入力 (DC12V±25%)	

☆注意:白色補助ランプの点灯/消灯自動制御に関して

白色補助ランプは、本機の顔認証精度を高めるため、単に外部環境の明るさ のみだけではなく、内部でシミュレートされた環境照度に基づいて制御して おります。

白色補助ランプの主な機能は、照射することにより顔全体の輝度を安定する ことで、画像の安定性を維持、またノイズを減らすことにより本機の顔認証 精度を高めています。

その為、外部環境が明るい時でも、点灯する場合があります。

4. デバイスの取り付け及び配線

4.1 デバイスの配線

4.1.1 配線

本機を取り付ける前に、あらかじめ電源ケーブル、ウィーガンドケーブル、 アラームケーブル、および RS485 (RS232) ケーブルを含むケーブル群の配置 を検討してください。詳細については「配線の説明」を参照してください。

4.1.2 配線の説明

図 4-1 は、本機と各デバイス間の配線を示しています。各デバイスの配線に ついては、接続デバイスの取扱説明書を参照するか、接続デバイスメーカー にお問い合わせください。 図 4-1 配線図



6

主 注意:ネットワークケーブルを防水する場合

付属の防水部品を、ネットワークケーブルに順番に取り付けます。最初に、ゴム製リングをネットワークケーブルのインターフェースに取り付ける必要があります。





- 配線図では、入力デバイスと出力デバイスを次のように定義しています。
 一入力デバイスは、本機に信号を送信するデバイスを指します。
 - -出力デバイスは、本機から出力信号を受信するデバイスを指します。
- 信号配線の接続には圧接型中継コネクタ、電源配線の接続には2Pネジ 止め端子台付 DC ジャック+DC プラグ、電源配線延長には絶縁被覆付 圧着スリーブを使用してください。
- 未使用の本体配線は、リード部を切って、他の配線とショートしないように処理してください。

4.2 部品、工具の準備

- 2P ネジ止め端子台付 DC ジャック+DC プラグ
- 絶縁被覆付圧着スリーブ
- 電源(DC12V、GND) 延長ケーブル
- ⑦フラスドライバー
- ドリル(フラッパーゲート、デスクに穴を開けて取り付け時)

4.3 体表温度測定モジュール(OEP-BTM32-NB)の取り付け配線



4.3.2 取り付けブラケット (EP-SZ66)



- 1)フロアスタンドの後ろの黒いパネルを取り外します。
- 2)本体に固定してある4つのネジを取り外します。(図4.3.1)
- 3)取り付けブラケットのFRTのネジ穴と本機、及びフロアスタンドの4つのネジ穴の上部の2つのネジ穴を合わせ、2.で取り外したネジを使用して固定します。また、本機、及びフロアスタンドの4つのネジ穴の下部の2つのネジ穴を合わせ、2.で取り外したネジを使用して固定します。(図4.3.2)
- 4)取り付けブラケットに体表温度測定モジュール 0EP-BTM32-NB を、体表 温度測定モジュール同梱品 M3x6 ネジを使用して、固定します。 (図 4.3.3)
- 5) 体表温度測定モジュール 0EP-BTM32-NB の4本のケーブルを、取り外 した黒いパネルの上部の小さい穴の外側から内側に通し、同梱の接続延 長4本ケーブルを圧接型中継コネクタで接続します。(図4.3.4)



本機と体表温度測定モジュールの RS-485 (RS485_P、RS-485_N)
 を圧接型中継コネクタで接続します。電源(VDD12V、GND)は、本機及び

体表温度測定モジュールのそれぞれの配線を2Pネジ止め端子台付 DC ジャックの端子台に接続します。(図4.3.4)

7) AC アダプターのケーブルを延長する場合は、電源延長ケーブルを準備し、絶縁被覆付圧着スリーブを圧着して接続します。電源延長ケーブルの他端を2Pネジ止め端子台付 DC プラグの端子台に接続し、6.の2Pネジ止め端子台付 DC ジャックに差し込みます。(図 4.3.4)



接続延長ケーブル (同梱)

図 4.3.4

- 8) フロアスタンドの後ろの黒いパネルを取りつけます。 デスクトップスタンドをドリルで穴を開けてゲート、デスク等に取り付け る場合は底面から、穴を開けない場合は、デスクトップスタンド背部の黒 いパネルの下部にあるゴム蓋を取り、パネル穴からケーブル類を取り出し
 - ます。

4.4 ゲートへの取り付け及び配線

4.4.1 ゲートへの取り付け

1) フラッパーゲートのカバーに穴を開ける

下図を参考にして、フラッパーゲートのカバープレートの上部にドリルス テッカーを貼り付けます。矢印は、フラッパーゲートの入口方向を示し ています。



 (1) フラッパーゲートのカバープレートを取り外し、ドリルステッカーの 置AとBに、ドリルで穴を開けます。

穴 A の直径:38mm、穴 B の直径:6.5mm。角度が表示された部分が残るように、ステッカーを切って剥がします。



- (2) サポート強度を確保するために、穴開け位置の後部に、厚さ 3mmの ライニングボードを溶接などで取り付けます。
- シールワッシャの溝をブラケットの下部にあるシール溝の内側の突起に 合わせ、シールワッシャをシール溝に均等に押し込みます。取り付けたら、 シールワッシャが所定の位置に入っていることを確認します。



3) 下図を参照して、本機をフラッパーゲートに取り付けます。



1. 体表温度測定機能付マルチター	2. フラッパーゲートのカバープ
ミナル	レート
3. M6 六角穴付きネジ	4. L型六角レンチ(M5)

(1)フラッパーゲートのカバープレートに、シールワッシャを取り付けた本機を配置します。

(2)ステッカーの穴を利用して、本機を適切な角度に調整し、ベースのネジ穴がフラッパーゲートのカバープレートの取り付け穴と揃っていることを確認します。



本機のデスクトップスタンドの底面には、下図のように合計8個(4 組)のネジ穴があります。

2 と 4 のマークが付いた 2 組のネジ穴は、本機を ±15°に調整するために使用され、1 と 3 のマークが付いた 2 組は、本機を ±30° に調整 するために使用されます。





(3) M6 六角穴付きネジを取り付け穴に入れ、L型六角レンチを使用し てネジを締めます。

4.4.2 ゲートとの配線

本機の IO1(+)、IO1(-)に接点制御のゲート、自動ドアなどの制御端子、及 び COM (GND) 端子を 絶縁被覆付圧着スリーブ等で接続します。(図 4.4.1) ゲート、自動ドアなどの配線については、接続デバイスの取扱説明書を参照 するか、接続デバイスメーカーにお問い合わせください。

📕:絶縁被覆付圧着スリープ等



図 4.4.1

4.5 アラーム出力と外部デバイスとの配線

温度が高い、マスクをしていないなど異常時に、外部のパトライト、ブザー を動作させるには、本機の102(+)、102(-)に接点制御入力を持つパトライト、 ブザーなどの外部デバイスの制御端子、及び COM (GND) 端子を絶縁被覆付圧着 スリーブ等で接続します。(図 4.5.1)

外部のパトライト、ブザーの配線については、接続デバイスの取扱説明書 を参照するか、接続デバイスメーカーにお問い合わせください。

📕:絶縁被覆付圧着スリープ等



5. デバイスの起動及び各種設定

デバイスを正しく取り付け後、電源入力インターフェース (DC 12V)を電源ア ダプターを電源に接続し、デバイスを起動します。デバイスが正常に起動する と、本機の表示画面が点灯します。

5.1 本機からのログイン

本機を初めて使用する場合、または工場出荷時の状態に戻す場合、アクティベ ーションパスワードを設定する必要があります。パスワードは、アクティベーシ ョンの設定、インターフェースへのログインに使用されます。

白注意

- パスワードには、少なくとも8文字を含める必要があります。
 (大文字、小文字、数字、アンダーバー、ハイフンのうち、少なくとも2種類を含む)。
- アクティベーションパスワードは、Admin が Web インターフェースにログ インするためのパスワードと一致しています。アクティベーションパスワ ードを変更した場合、新しいパスワードを使用して Web インターフェース にログインします。
- 新しいアクティベーションパスワードを本機に保存するためには、OKをクリック後、5分以上電源を切らないでください。

アクティベーションパスワードを設定すると、本機のメインインターフェースが 表示されます。アクティベーションパスワードを後で変更する必要がある場合、 「アクティベーションパスワード」を参照してパスワードを変更してください。

まずアクティベーションバスワードを ださい。	設定してく
1 admin	
ок	

図 5.1.1 初期アクティベーションパスワードを設定する画面

5.2 本機からの設定

5.2.1 初期設定

本機のメイン画面を長押し(3秒以上)します。パスワード入力インターフェー ス表示後、設定したいアクティベーションパスワードを入力して、アクティベーシ ョンの設定インターフェースに進みます。パスワードを忘れた場合、お近くの販売 店までご連絡して、サポートを受けてください。

;)注意

初期アクティベーションパスワードは、初期インターフェースで設定します。ロ ーカルデバイスまたは Web インターフェースで変更されている場合、新しいアク ティベーションパスワードを入力します。



図 5.2.1 設定画面に進むためのアクティベーションパスワード入力画面

アクティベーションの設定画面では、本機の基本情報を表示したり、デバイスの場 所、ネットワーク、パスワード設定、従業員情報や認識シーンの入力などを行うこ とができます。



図 5.2.2 設定メニュー画面

5.2.2 ユーザー管理(顔写真の登録)



1) アクティベーションの設定画面で、 ^{ユーアー10}をタップして、ユーザー管理メニューに 移動します。

<	ユーザー管理
名前	
性別	● 男性 ○ 女性
カード番号	
前写真	0/1
+	
	保存

図 5.2.3 ユーザー管理画面

- 2) 人物の顔写真を収集して入力するには、次の操作を行います。
 - 2-1) 画面表示に従い、カメラに向くように登録者に依頼します。

✓ は戻るボタンです。



2-3)顔写真確認画面で、 をタップして、収集した顔写真を確認します。

は戻るボタンです。



2-4) ユーザー管理メニューで、名前、性別、カード番号(必要により)を入 カし、保存 をタップして人物登録情報を保存します。

5.2.3 認識シーンの設定

本設定は、本機の認識シーン、温度測定範囲、温度アラーム値、マスク検知などの 設定ができます。

20

1) アクティベーションの設定画面で、 をタップして、認識シーンメニューに移動します。

<	認証シーン		
○温度測定のみ			
() 顔検知 + 温度湯	則定		
 ·	則定		
ヒント : その他の詞 インして設定してく	別証設定を行うには 【ださい.	, Webi	画面にログ
マスク検知			
温度単位	۲	°C	○ °F
温度測定範囲	35.5	°C ~	42.0 °C
温度アラームしきい	値		37.3 °C
ヒント:アラームの なります.	しきい値を超える	と、異常	な高温に
	保存		

図 5.2.4 認証シーン設定画面

2) 認識・検知の設定

温度測定(正常/異常)のみを行う場合は「温度測定のみ」を選択します。 温度測定とマスク検知を行う場合は「顔検知+温度測定」を選択、温度測定と顔認 証とマスク検知を行う場合は、「顔認識+温度測定」を選択します。

「顔認識+温度測定」モード、「顔検知+温度測定」モードでマスクを着けてい るかどうかのマスク検知を行う場合は、マスク検知を有効にします。

温度測定の測定範囲(工場出荷時は 35.5~42℃)、アラームしきい値(工場 出荷時は 37.3℃)の変更が可能です。

5.3 Web ログイン

本機の Web ページにログインすると、デバイスの管理やメンテナンスが詳細に行 えます。

詳細については、体表温度測定機能付マルチターミナル UFT-2060TM 取扱説明書 を参照してください。

クライアント PC で、Internet Explorer(IE9 以降)を開き、アドレスバーにデバイスの IP アドレス 192.168.1.13(工場出荷値)を入力して Enter を押します。

 初めてウェブインターフェースにログインすると、下図のようなプラグイン インストールのプロンプトが表示されます。インターフェースの指示に従って、 プラグインのインストールを完了し、(インストールするには、ブラウザをすべ て閉じる必要があります)、Internet Explorer を再起動して、システムに再度ログ インします。

Failed to load ActiveX control, clic Download to install latest ActiveX control.

 パスワードログインダイアログボックスにユーザー名(工場出荷時値は admin) とパスワードを入力し、ログインをクリックして Web ページにアクセスしま す。

~

1 注意

- ネットワーク環境で DHCP サーバーが使用される場合、デバイスに IP アドレスがダイナミックに割り当てられることがあります。この場合は実際の IP アドレスを使用してログインします。
- 初回ログインでは、システムから、プラグインをインストールするよう指示されます。プラグインをインストールする際にはブラウザをすべて閉じてください。ページの指示に従って、プラグインのインストールを完了し、 Internet Explorer を再起動してシステムにログインします。
- 本製品の初期パスワードは初回ログインでのみ使用されます。セキュリティを確保するため、初回ログイン後に初期パスワードを変更する必要があります。数字、文字、特殊文字の2種類をすべて含む8文字以上から成る 強力なパスワードを設定してください。
- パスワードを変更した場合、新しいアクティベーションパスワードで Web インターフェースにログインします。

5.4 Web からの設定

5.4.1 顏認証基本設定

5.4.2.1 Web インターフェース管理

本機の Web インターフェースで従業員/訪問者情報を管理できます。

たとえば、従業員の追加(1人ずつまたは一括)、従業員/訪問者情報の変更、 または従業員/訪問者の削除(1人ずつまたは一括)を行うことができます。

- 1) Web インターフェイスにログインします。
- 2) セットアップ > インテリジェント> 顏ライブラリを選択して、顏ラ イブラリタブに移動します。本機取扱説明書を参照して、従業員/訪問者 情報を管理します。
- 3)1人ずつ、若しくは一括で登録できます。1人ずつ登録は以下のように 行います。
- (1) セットアップ > インテリジェント > 顔ライブラリを選択し、追加す る顔ライブラリを選択します。

- (2) 顔ライブラリ上のリストバーにある、追加をクリックします。
- (3) 表示された追加顔情報インターフェースで、取扱説明書を参考に 設定します。
- (4) 写真部のバッチ読み込みをクリックします。表示されたインターフェースで、登録する顔写真を選択します。

1 人あたり最大 6 枚の写真(10~512KB の jpg 画像のみ)が登録できま す。

- 5.4.2 ポートとデバイス設定
 - 5.4.2.1 シリアルポート
 - セットアップ > 一般 > ポートとデバイス を選択し、シリアルポート タブをクリックします。

R\$485_1			R\$232_1		
ポートモード	安全/温度モジュー	1/ V	ボートモード	QRJ-FE-F	Ý
R\$485_1			ボーレート	115200	~
			データビット	8	~
□ QRコードリーダーを有効にします			ストップビット	1	Ý
			パリティ	なし	~
□安全モジュールを有効にします		フロー制御	なし	~	
RS4857ドレス	0	~		レモ有効にします	
ボーレート	115200	\sim			
データビット	8	~			
ストップビット	1	\sim			
パリティ	なし	~			
フロー制御	なし	\sim			

- 図 5.4.1 シリアルポート設定画面
 - 本機がRS485シリアルポートを介して体表温度測定モジュールに接続の場合、ポートモードを「安全/温度モジュール」に選択設定します。
 - 3) 保存 をクリックして、IO ポートの設定を保存します。

5.4.2.2 10 設定

本機は、温度測定、マスク検知、顔認識結果により、10信号をゲート機、自動 ドアなどに接続し、制御が可能です。

- セットアップ > 一般 > ポートとデバイスを選択し、 IO 設定 タブを クリックします。
- ゲート、ドアに接続する場合、F1のタイプで「ゲート」を選択します。 レベル値は、通常101+と101-が開いている場合「低レベル」、閉じてい る場合「高レベル」を選択します。 接続する外部デバイスの仕様を確認の上、選択ください。 パルス幅はゲート、ドアが開いている時間を設定します。 また、「有効にします」を✓します。
- アラーム出力として、外部の接点メイク制御入力のパトライト、ブザーを制御 する場合、F2のタイプを「アラームアウト」を選択します。 レベル値は、通常101+と101-が開いている場合「低レベル」、閉じてい る場合「高レベル」を選択します。 接続する外部デバイスの仕様を確認の上、選択ください。 パルス幅は外部デバイスの動作時間を設定します。 また、「有効にします」を✓します。
- 4) 保存をクリックして、10 ポートの設定を保存します。

6. 使用上の注意事項

6.1 登録顔写真の条件

- 帽子を被らず、マスク、サングラスをかけず、顔の輪郭が解る顔全体が映った正面の写真である必要があります。
- 2) 登録中の本機の画面には、収集している人物の顔(写真)のみが表示さている 必要があります。(複数人写真禁止)
- 6や青などの単色の背景である事が望ましい。
- 4)撮影の際には、適度な明るさの光が必要です。暗すぎたり明るすぎる写真、 色が異常な写真は受け付けられません。

6.2 顔認識条件

- 1) 認識可能な距離は 0.5m~2m です。
- 2) 顔認識時は、本体カメラに向かって自然な表情で真正面を向きます。
 上下左右に向いたり、首を傾げたりすると認識しない場合があります。

6.3 温度測定条件

- 1) 温度測定環境は、15~30℃の屋内、無風の場所に設置してください。
- 2)本機は、電源投入後に予熱する必要があります。最適な温度測定状態になるのは約15分後です。
- 画角内にライトなどの熱源が無い事を確認ください。
 熱源の干渉により、精度に影響を与えます。
- 4) 推奨測定距離は 50 cm~70 cmです。
- 5)本機は額の温度を測定しています。額が前髪、帽子、サングラスなどで 覆われていないように測定してください。
- 6)屋外の高低温環境から測定場所に来た場合、運動の直後は、測定場所で安静に待機し、5分後に温度を測定してください。

7. 特記事項

- 本機は、医療グレードの温度測定チップをベースに、独自に開発したものです。通過する対象者に接触することなく温度を測定し、高熱を検出した時にはアラームを生成することができます。温度測定の偏差は±0.3℃です。
- 本機は、異常温度の人の予備的なスクリーニングにのみご使用ください。また、屋外で使用した場合の測定結果は保証できません。
- 3) 本機は、精密な医療診断装置ではなく、温度スクリーニング装置です。測定 結果は、屋内15~30℃の無風環境にいる人のリアルタイムの温度のみを表し ます。弊社は、測定結果の誤差によって発生した直接的または間接的な損失 について責任を一切負いません。
- 4) 最初の測定者のスクリーニング測定結果が、異常温度があることを示している場合、測定結果の信頼性を確認するためには、医療グレードの温度測定装置をご使用ください。

8. 免責事項、ネットワークセキュリティ強化

免責事項

株式会社ティービーアイは取扱説明書およびクイックガイドの完全性および正 確性については万全を期しておりますが、その内容については公式に保証するも のではありません。この取扱説明書およびクイックガイドの使用およびその結果 については、すべてユーザーが責任を負うことになります。本仕様は製品の性能 向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

※設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

ネットワークセキュリティ強化

デバイスのネットワークセキュリティを強化する上で必要な手段をすべて実施 ください。

下記、デバイスのネットワークセキュリティを強化する上で必要な手段です。

- デフォルトパスワードの変更および強力なパスワードの設定:初回ログイン後に デフォルトパスワードを変更するよう強くお勧めします。数字、文字、特殊文字 の少なくとも2種類を含む8文字以上から成る強力なパスワードを設定してく ださい。
- ファームウェアを最新の状態に維持する:セキュリティを向上するため、デバイ ス内のファームウェアを常に最新の状態に維持するよう推奨します。最新ファー ムウェアについては、弊社にお問い合わせください:

下記、デバイスのネットワークセキュリティを強化する上での推奨事項です。

- パスワードを定期的に変更する:パスワードを定期的に変更し、パスワードを安 全に保管してください。関係者以外の人物がログインできないようにしてください。
- 自動ログイン機能とバスワード保存機能を無効にする:2人以上のユーザーがア クセスするコンピュータの場合、不正使用を防止するためこうした機能を無効に するよう推奨します。
- 専用のユーザー名とパスワードを選ぶ: ソーシャルメディア、銀行、メールアカウントの情報が漏れた場合に備えて、デバイスのユーザー名やパスワードとして、ソーシャルメディア、銀行、メールアカウントなどと同じユーザー名やパスワードを使用しないでください。
- ユーザー権限を制限する:2 人以上のユーザーが同じアカウントにアクセスする 必要がある場合、必要な権限のみを許可してください。
- SNMP : SNMP を使用しない場合は無効にしてください。SNMP を使用する場合は SNMPv3 を推奨します。

- ログの確認:不正なアクセスや異常な操作が行われていないか、デバイスログを 定期的に確認してください。
- ●物理的保護:物理的な不正アクセスを防止するため、鍵のかかる部屋かキャビネット内にデバイスを保管してください。
- ビデオ監視ネットワークの分離:ビデオ監視ネットワークと他のサービスネット ワークと分離すると、他のサービスネットワークからセキュリティシステムのデ バイスへの不正アクセスが防止しやすくなります。



株式会社ティービーアイ 〒104-0031 東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン 28F

■修理・操作説明連絡先 受付時間9:00~12:00/13:00~17:00 (土日、祝日/年末年始を除く) フリーダイヤル 0120-065-011 ホームページアドレス http://www.tbeye.com